イスラ ムの 一色（中）

：

明:イスラ ムが提唱する人　の平等性と、 史におけるその例。第二部： 言者の 代における例。

目: 事 代における人

目: 事イスラ ムによる利益社会への利益

より: アブドッラフマ ン マハディ?www.Quran.nu

日29 Sep 2014

集日 29 Sep 2014

ペルシャ人のサルマ ン

サルマ ンは同 の人々と同 、敬虔なゾロアスタ 教徒として育てられてました。しかし、崇 中のキリスト教徒たちと出会うと、彼はキリスト教を「より良いもの」として受け入れました。サルマ ンは知 を求めて旅立ち、学 ある修道僧たちのもとを渡り きますが、彼らのうちの最 の者がこう言いました。「息子よ！
私は私たちと同じ（信条を持つ）者をもうだれも知らない。しかし、 言者到来の は近い。その 言者は、アブラハムの宗教を引き ぐ者である。」僧は 言者の性格や、どこに彼が れるのかなどをサルマ ンに教えました。サルマ ンは 言の地であるアラビア半 に移り渡り、ムハンマドのことを耳にしたため、彼に出会いに行くと、僧の 明からすぐに彼を　し、イスラ ムを受け入れました。サルマ ンはその学 の高さによって著名な教友の一人となり、クルア ンを の言 （ペルシャ ）に初めて翻 した人物となりました。ある 、言者が教友たちと共にいると、 言者に次の 示が下されました。

***“??????????????

“??”??????????

ロ マ人のスハイブ

スハイブの父はペルシャ帝王の庇　督を めていたため、豪邸に住むという特 に まれていました。スハイブがまだ子供の 、彼はビザンチンの　 から囚われの身となり、奴 としてコンスタンチノ プルへと り ばされてしまいました。

スハイブは 属状 から脱出し、避 の地として最 だったマッカに逃れました。彼はそこで商人として成功すると、ビザンチン出身者であり、その言 を すことから「アッ＝ル ミ（ロ マ人）」と呼ばれるようになりました。スハイブはムハンマドの教えを耳にすると、その真 性に 信を持ち、直ちにイスラ ムを受け入れました。初期のムスリムたちがしたのと同じように、スハイブもマッカの偶像崇 者たちによる迫害を受けました。それゆえ、彼は 言者の近くで暮らすため、富の全てをマディ ナ行きへの安全な旅のために やしました。スハイブを目にした 言者は喜んで3度挨拶を交わしました。「おお（スハイブよ）、あなたの取引は りをもたらしたのだ!
あなたの取引は りをもたらしたのだ! 」神は次の 示により、スハイブが再会前に 取されていた事 を 言者に知らせました。

“??”??????2:207?

言者はスハイブをこよなく し、彼のことをイスラ ムにおけるロ マ人の先 けであると 明しました。初期のムスリムたちの のスハイブの敬虔さと名声は めて高かったことから、カリフ ウマルはその死の床にあった 、人々が次のカリフを ぶまでの先 者としてスハイブを んだ程でした。

ヘブライ人のアブドッラ

イスラ ム以前のアラブ人たちが蔑んでいた民族の中には、ユダヤ人が含まれます。 言者ムハンマドの 代の多くのユダヤ人やキリスト教徒たちは、アラビア半 における新た

な 言者の到来を心待ちにしていました。特に、レビ族のユダヤ人たちはその大 がマディ ナ、そしてその近 に移り住んでいました。しかしながら、イシュマエルの子 であるアラブ人の 言者が到来すると、彼がイスラエルの子 であるヘブライ人ではなかったことから、ユダヤ人たちは彼を拒 しました。ただし、それはフセイン ブン サラ ムのような一部を除いてです。フセインは最も学 の深いラビであり、マディ ナのユダヤ人の指者でしたが、彼がイスラ ムを受け入れると非　中 を受けました。 言者はフセインを「神の 」を意味する「アブドッラ 」と改名し、彼には　が定められているという吉 を与えました。アブドッラ は彼の部族にこう宣言しました。

「ユダヤの よ!
神を畏れよ、そしてムハンマドがもたらしたものを受け入れるのだ。神にかけて!
あなたがたは彼が神の使徒であることを知っているし、あなたがたはト ラ の中から彼の名前や性格が言及されているのを 出すこともできる。私に しては、彼が神の使徒であると宣言する。私は彼を信 し、彼の真 性を信じている。私は彼を承 する。」神はアブドッラ について次の 示を下しています。

***“??????????????